

新型コロナウイルス感染症による子どもの心理的ストレスと対応について

保護者のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症による臨時休校が長引き、子どもたちにとって日常と違う時間が長く続いています。通常的生活との違いに戸惑いを感じ、限られた生活空間でのストレスがたまり、ニュースなどから伝わるさまざまな情報に不安や恐怖、心配を感じている子どもたちもいることと思います。このような状況の中では、子どもたちがいつもと異なる反応や行動を見せることがあります。そうした子どもの姿は、非日常に出会った際に起きる一般的な反応や行動であることを知っておくことが大切です。起こりやすい反応や行動とかかわり方についてお知らせします。

<反応・行動>

- ・身体の不調（頭痛、腹痛、よく眠れない、食欲がなくなるなど）
- ・いつもよりイライラしている。気持ちが不安定になる。悲観的な考えを持ちやすくなる。
- ・甘えが強くなる。
- ・衛生面に神経質になりすぎる。

<かかわり方について>

周りの大人が冷静に落ち着いて対応している姿を見せることが大切です

- ・子どもたちが、自分から話すことをよく聞く。
- ・安心して落ち着けるように手助けをする。（側に一緒にいる、正しい情報を伝えていく）
- ・一緒にリラックスや気分転換できる活動をする。（歌を歌う、絵を描く、料理や工作をする、室内でできる運動をするなど）
- ・可能な限り日常のリズムを保つ。（食事時間、就寝時間など）
- ・テレビなどで、新型コロナウイルスに関するニュースや映像に接する時間を減らす。

このような状況で、子どもたちが抱える不安やストレスは大きいものです。保護者のみなさまにつきましても、先の見えない状況に多大なご負担を感じられていることと思います。お子さまに関することでご心配がありましたら、学校の教職員やスクールカウンセラー等にご相談ください。

藤沢市学校教育相談センター

